

まちの話 だい

3月16日 | 門出を祝うこいのぼり

川根町家山で、今年も大井川にこいのぼりが架けられました。これは、地元の有志団体「川根ラブズファクトリー」が、全国から寄付を募り集めた80匹のこいのぼりを活用したものです。

当日は、卒業式を終えた川根小学校の6年生たちが駆けつけ、自分たちで色を塗ったオリジナルのぼりも設置しました。このこいのぼりは、5月19日(日)まで設置される予定です。



3月17日 | 今シーズン初の茶摘み

初倉地区阪本のハウス茶園で、露地物より1カ月ほど早く初摘みが行われました。

約1,500㎡のビニールハウスで収穫されたのは、主力茶品種の「やぶきた」。春先に芽吹いたばかりの柔らかな新芽を使った新茶は「大走り」とも呼ばれます。この日は、早朝から集まった農家の女性17人が、みずみずしい萌黄色の「一芯二葉」約70kgを手際よく摘み取り、籠に入れていました。

3月24日 | 文化となった愛ある悪口

200回達成記念「しまだ元気市」と「第15回愛するあなたへの悪口コンテスト」表彰式が、おび通りで同時開催されました。

南側ステージで行われた悪口コンテスト表彰式では、審査委員長で直木賞作家の村松友視さんから、受賞者へ賞状と記念品が手渡されました。村松さんは『悪口も言いようで文化』という心意気が浸透し、15回を迎えられたことが感慨深い」と講評しました。





3月26日 | 春の訪れを告げる花

今年も牧之原公園の「カタクリ園」が、4月4日までの9日間開園しました。

市の天然記念物であるカタクリは、下向きに咲く紅紫色のかれんな花。大井川流域での自生は極めて少なく、同園では「島田市金谷野の花の会」の協力を得ながら、手厚く保護しています。見頃を迎えた1万株以上のカタクリが、開花を待ち望んだ花見客を魅了しました。

3月23日 | お茶づくしの祭典

道の駅川根温泉で、お茶をまるごと楽しむ「茶ービスエリア」が開催されました。

これは、飲むだけでなく、食べ物や雑貨、遊具などで茶どころ川根を存分に楽しめるイベント。茶商や生産者など20団体が出店し、多くの来場者でにぎわいました。製茶できない茶葉を敷き詰めた茶葉プールでは、子どもたちが飛び込むなどして、全身でお茶を楽しんでいました。



3月21日 | 蓬萊橋 897.4 茶屋1周年

蓬萊橋のたもとにある「蓬萊橋 897.4 茶屋」が、オープン1周年を迎え、記念式典を開催しました。

式典では関係者がくす玉を割った後、染谷市長が「茶屋が皆さんに親しまれ、無事に1周年を迎えることができた。県外や海外からのお客様も多く、今後もより良いおもてなしをしていきたい」とあいさつ。雨模様の中、販売ブースやステージイベントで、多くの来場者をもてなしました。